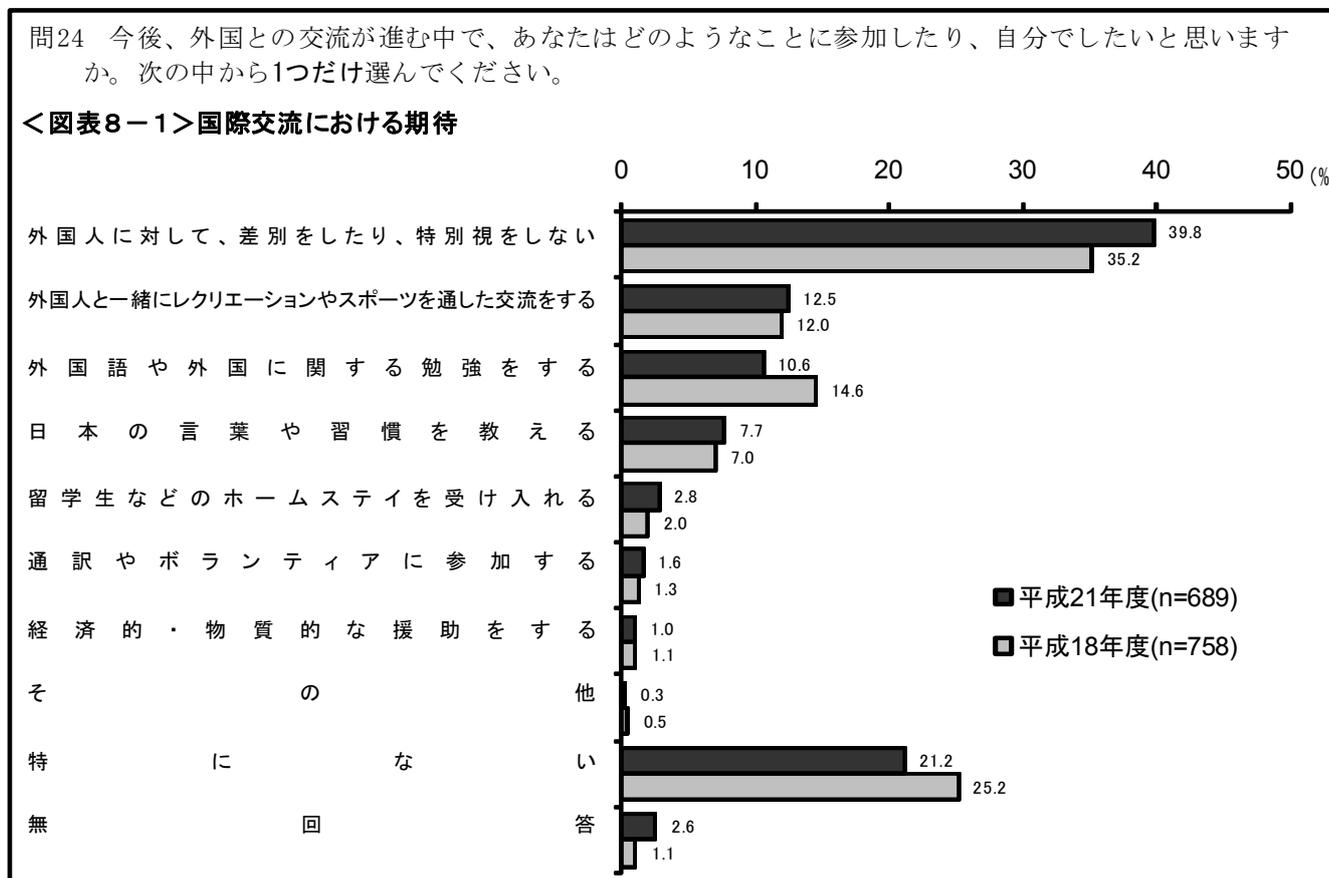


## 8. 国際化社会

### (1) 国際交流における期待

◇「外国人に対して差別をしたり、特別視をしない」が約4割

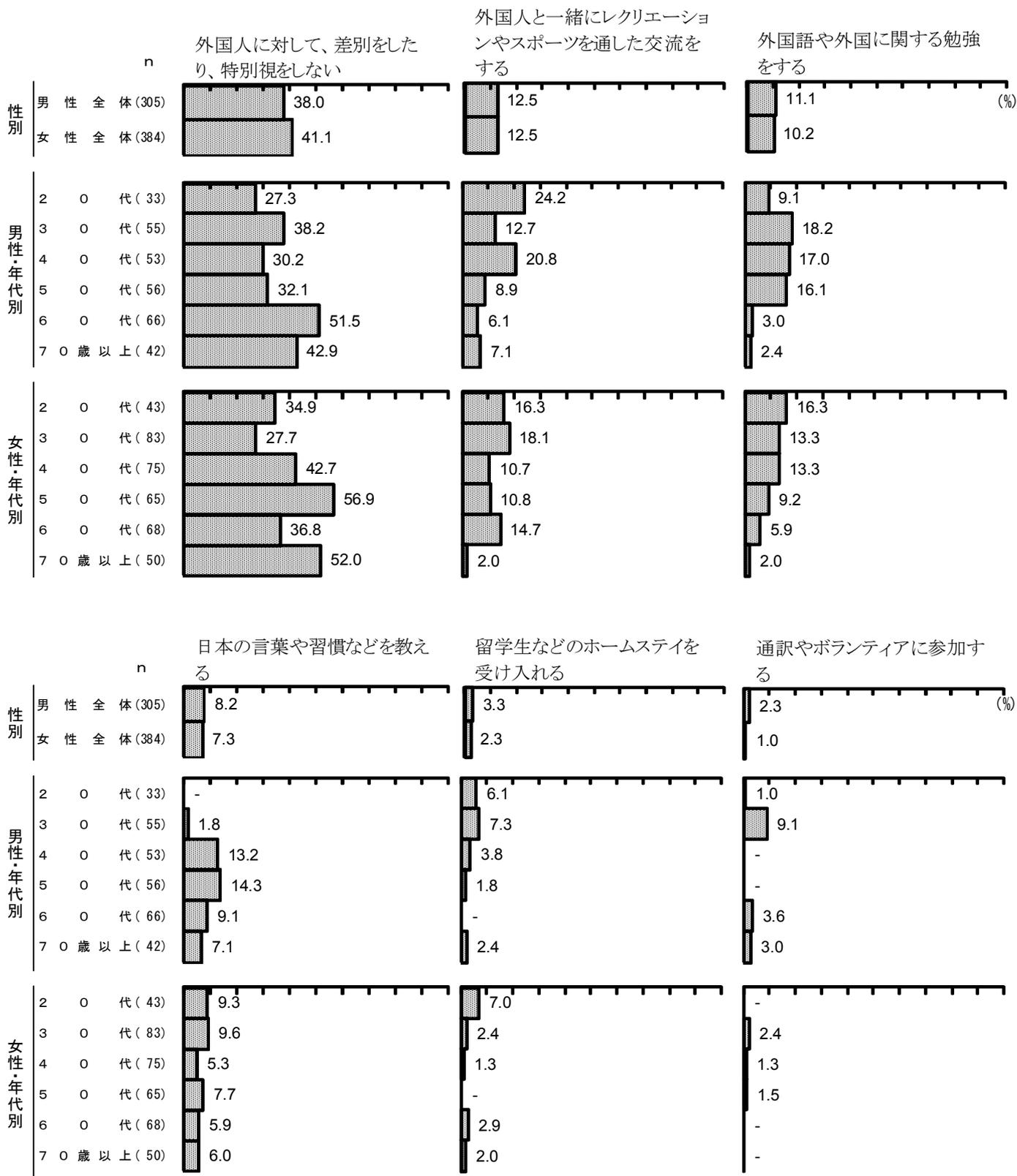


今後、外国との交流が進む中でどのようなことができると思うか尋ねたところ、「外国人に対して差別をしたり、特別視をしない」(39.8%)が最も多く3割台半ばとなっている。以下、「特にない」(21.2%)、「外国人と一緒にレクリエーションやスポーツを通じた交流をする」(12.5%)、「外国語や外国に関する勉強をする」(10.6%)、日本の言葉や習慣を教える(7.7%)と続く。(図表8-1)

平成18年度の調査結果と比較すると、「外国人に対して、差別をしたり、特別視をしない」、「外国語や外国に関する勉強をする」の割合が若干減少している。(図表8-1)

「特になし」と「その他」を除く上位6項目について、性別でみると特に大きな差異はみられない。性・年代別では、「外国人に対して、差別をしたり、特別視をしない」は、男性の60代（51.5%）、女性の40代（56.9%）、女性の70歳以上（52.0%）で約半数となっている。また「外国人に対して、差別をしたり、特別視をしない」と「外国人と一緒にレクリエーションやスポーツを通じた交流をする」については、全体でみると20ポイント程度の差があるが、男性の20代に限ってはほぼ同じ割合となっている。（図表8-2）

＜図表8-2＞国際交流における期待／性別、性・年代別（上位6項目）

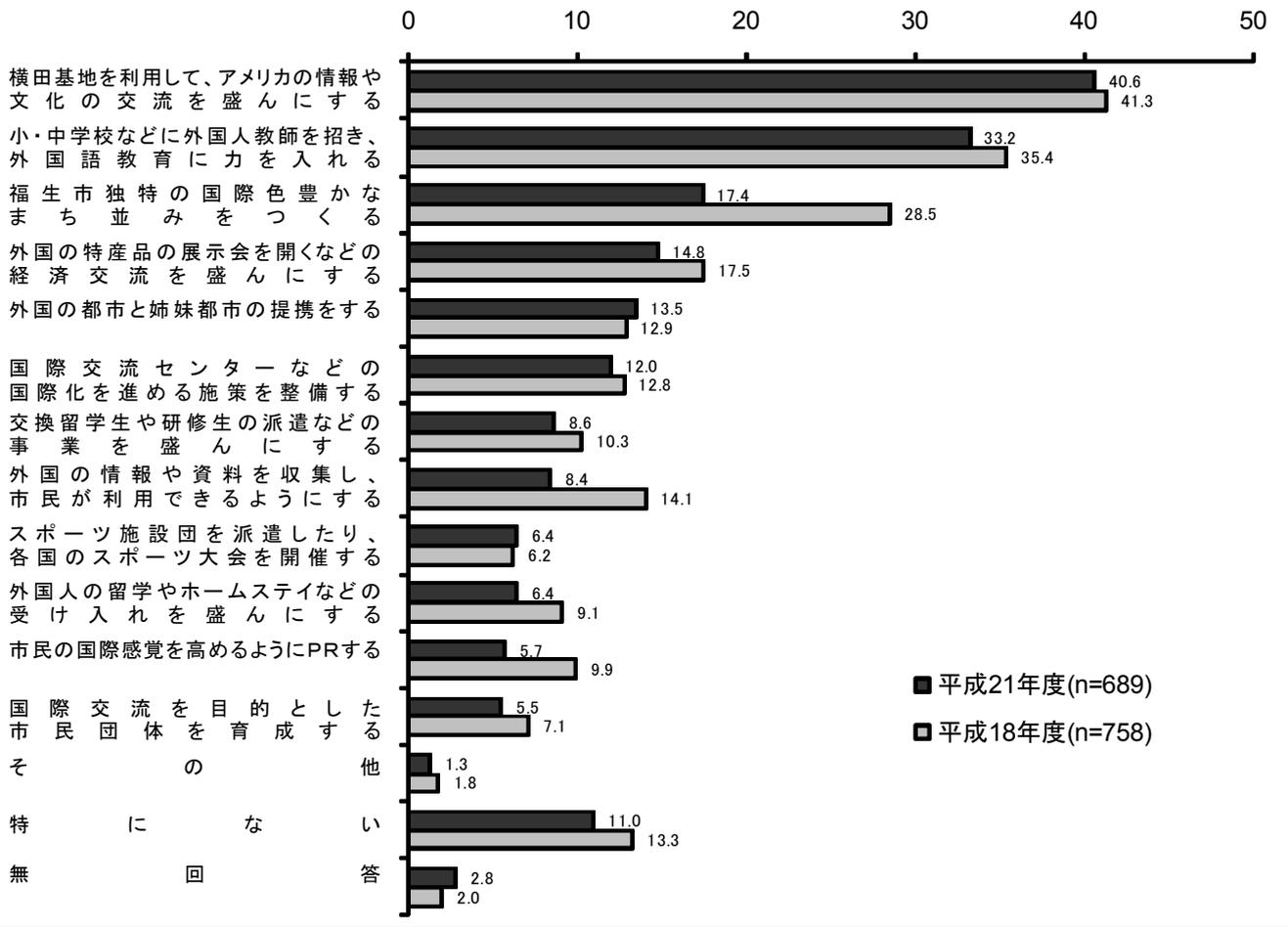


(2) 国際化を進めていくうえでの重点項目

◇「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする」が約4割

問25 市が国際化を進めていく上で、特に力を入れるべきだと思うことを、次の中から3つまで選んでください。

<図表8-3> 国際化を進めていくうえでの重点項目(複数回答)



国際化を進めていくうえでの重点項目について尋ねたところ、「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする」(40.6%)の割合が最も高く約4割、次いで「小・中学校などに外国人教師を招き、外国語教育に力を入れる」(33.2%)が3割台となっている。以下、「福生市独特の国際色豊かなまち並みをつくる」(17.4%)、「外国の特産品の展示会を開くなどの経済交流を盛んにする」(14.8%)、「外国の都市と姉妹都市の提携をする」(13.5%)、「国際交流センターなどの国際化を進める施策を整備する」(12.0%)と続く。(図表8-3)

前回の調査結果と比較すると、「福生市独特の国際色豊かなまち並みをつくる」が約10ポイント増加したほかは、ほぼ前回と同様となっている。(図表8-3)

上位6項目を性別、性・年代別で見ると、性別での差異はほぼみられない。性・年代別では、「横田基地を利用して、アメリカの情報や文化の交流を盛んにする」は、男女とも20代（男性51.5%、女性53.5%）で5割を超え、70歳以上（男性21.4%、女性32.0%）は比較的低い割合となっている。「小・中学校などに外国人教師を招き、外国語教育に力を入れる」は女性の20代（11.6%）で他の年代よりやや低い割合となっている。（図表8-4）

＜図表8-4＞国際化を進めていくうえでの重点項目／性別、性・年代別(上位6項目)

